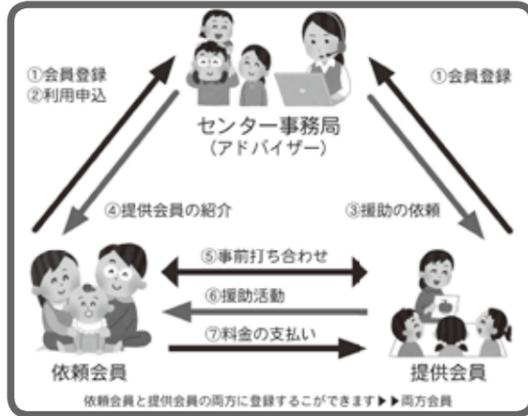


「ファミ・サポ」提供会員の募集と「子育て支援講座」の開催

「ファミ・サポ」とは、『ファミリー・サポート・センター』の略称で、地域で子育てをお手伝いする会員組織です。

町で7月からの活動開始に向けて子育てのサポートをしてほしい人「依頼会員」とサポートをしたい人「提供会員」の会員募集をしています。

提供会員になるには、資格や経験、性別は問いませんが、下記の「子育て支援講座」を受講する必要があります。なお、今すぐに活動はできないけれど、今後の活動や勉強のために受講してみたい方など、子育てに関心のある方であればどなたでも受講できますので、多くの皆さんの参加をお待ちしています。



ファミ・サポの活動（利用）の流れ

- 会員登録**
どちらの会員もあらかじめファミリー・サポート・センターへの登録が必要です（提供会員の活動は必須講習を受講後開始できます）。
- 利用申込（依頼会員→センター）**
依頼会員は利用したいときにセンターへ申し込みをしてください。
- 援助の依頼（センター→提供会員）**
センターから提供会員に援助を依頼します。提供会員は内容を確認し、受けるかどうか判断します。
- 提供会員の紹介（センター→依頼会員）**
センターから依頼会員に提供会員を紹介しします。
- 事前打ち合わせ（依頼会員⇄提供会員）**
初対面の会員であるときは、お子さんやセンター職員も一緒に事前打ち合わせをします。
- 援助活動（提供会員→依頼会員）**
提供会員は事前に打ち合せしたとおり援助活動を行います。
- 料金の支払い（依頼会員→提供会員）**
援助活動終了後に依頼会員は、提供会員に直接料金（利用料）を支払います。

ファミリー・サポート・センター事業内容

援助内容
保育所等までの送迎、子ども預かり等

対象児童
おおむね生後6か月から小学校6年生まで

活動時間
原則として、土・日・祝日を除いた7:00～20:00まで

利用料金
1時間600円。送迎に係る経費等は実費

子育て支援講座

日程	時間	項目	講師	備考
6月27日（木）	10:00～11:20	②子どもの世話と保育	子育て支援所職員	必須講座 ファミ・サポ提供会員になるために必ず受講ください
	13:30～14:50	③子どもの安全と事故	豊頃消防署	
	15:00～16:20	①ファミ・サポ事業の進め方	子育て支援所職員	

※この日程では受講できないけれど、すぐに活動したいという方には、個別の講習も行いますので、ご相談ください。

場 所 こどもプラザとよころ 2階研修室
対象者 豊頃町内に住所がある20歳以上の心身ともに健康な方
参加費 無 料
申込み 6月14日までに、こどもプラザとよころ内の子育て支援所へお申し込みください。
持ち物 筆記用具・「子どもの安全と事故」の講座では、動きやすい服装で参加ください。
託 児 小さなお子さんをお連れの方は、ご相談ください。

◆ 講座修了ごとに修了証を発行します。なお、この講座は来年度以降も行う予定です。

問合せ先 こどもプラザとよころ ☎ (574) 3931



北の大地を拓いた報徳のおしえ
 年々歳々不可忘報徳

豊頃町民憲章（前文）

わたくしたちは、故郷の母なる大河十勝川の流れるところ
 その大海原をのぞむ、十勝発祥の地に働くよるこびに生きる、豊頃の町民です。わたくしたちは、先人のたくましい開拓精神と、『報徳のおしえ』をうけつぐことをほこりとし、この町民憲章を定めます。

いまを充実させ、未来を発展させるために。

二宮尊徳は、「報徳のおしえ」という貴重な心の遺産を残しました。この「報徳のおしえ」は永遠に変わることのない心理を貫き、（豊頃町民憲章でうたわれてるように）これからの時代の人づくり、町づくりの基盤となる考え方は、その「報徳のおしえ」をわかりやすく表現しているのが、広報4月号で紹介した報徳訓です。

その中心的な実践指標として、全町各戸に配布しました「広めよう！報徳の町に四つの心」のリーフレットにある「至誠」を中心とした「勤労」「分度」「推譲」という考え方は、「四綱領」

「報徳のおしえ」に関するたくさんの方の考え方をあらかず言葉：以德報徳・積小為大・二円融合・心田開発；また、尊徳が著した道歌・夜話、名言・格言その他の資料から、私たちは多くのことを学ぶことができます。新しく年号も「令和」に変わりました。今年度も更に「報徳のおしえ」を学び実践していきましょう。そして、人であるがゆえに、将来を見据えた生き方を大切にしていきましょう。

二宮尊徳（金次郎）「心に響く名言・格言」より

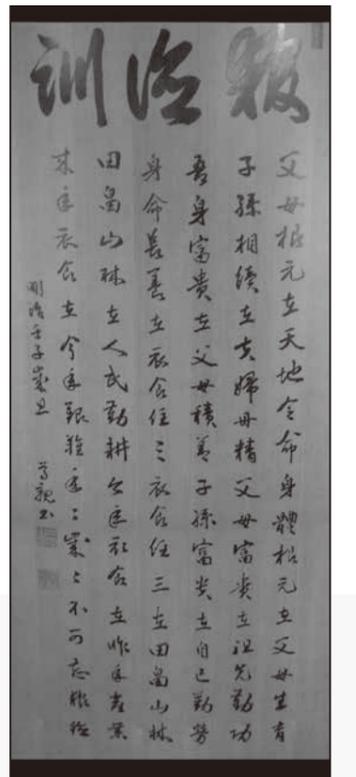
一人の人間は、宇宙にあつては限りなく小さいが、その誠意は天地をも動かすことができる。

樹木を植えて、三十年たたなければ木材にはならない。だからこそ後世のために木を植えるのだ。

今日用いる木材は、昔の人が植えたものだとすれば、どうして後世の人のために植えないでよかるうか。



二宮 尊親



える夢館歴史の森【報徳訓】



二宮尊徳之像

問合せ先 教育課社会教育係 ☎ (579) 5801

▼「ファミ・サポ」提供会員の募集

▼「報徳のおしえ」とよころ

議会だより

議会だより

社協だより

社協だより

役場だより

役場だより